

# こんにちはは町会です


 都営勝どき  
六丁目アパート  
自治会

 湊一丁目  
町会

 高めよう!災害に立ち向かう地域力!!  
広げよう!助け合うつながりの輪!!

 堀留町二丁目  
町会

## お問合せ先

- ◎京橋地域  
区民部地域振興課  
電話:03-3546-5337
- ◎日本橋地域  
日本橋特別出張所  
電話:03-3666-4251
- ◎月島地域  
月島特別出張所  
電話:03-3531-1151

まだ町会・自治会に入っていない皆さん!  
ぜひ加入して防災訓練やその他のイベントなどを通して、地域でのつながりを深めてみませんか!

すでに町会・自治会に加入されている皆さん!  
皆さんの知恵や活動力など、まちは新しい力が必要としています!皆さんで災害に強いまちをつくりましょう!

地域の防災訓練を通して、町会・自治会活動に参加してみませんか。

平成23年3月11日、東日本大震災から7年。当時、中央区においても震度5弱を観測し、大きな被害や多くの帰宅困難者が発生しました。今後、30年の間に首都直下地震が70パーセントの確率で発生するとされる今、その被害を最小限に抑えるためにも、地域のつながりを強くしておくことはとても重要です。

中央区では8月下旬から各地域で防災拠点訓練を実施。町会・自治会の多くの方々にご協力を頂き、有意義な訓練となりました。また、これとは別に地元町会・自治会等が主体となった独自の防災訓練も行われています。

そこで今回は3つの町会・自治会が実施している防災訓練などを紹介いたします。ここでは老若男女、様々な方々が防災訓練に参加し、いつか来る災害に備えるために、地域の絆をさらに強くしていました。

そこで今回は3つの町会・自治会が実施している防災訓練などを紹介いたします。ここでは老若男女、様々な方々が防災訓練に参加し、いつか来る災害に備えるために、地域の絆をさらに強くしていました。

京橋  
地域

# “ずわー大事!”のときこそ 地域力で勝負

湊一丁目町会 会長 高安雄次郎さん

たか やす ゆうじろう



京橋地域の東側、鐵砲洲稻荷神社の門前町として下町風情が残る湊界隈には、地域のつながりが強い町会が集まっています。湊一丁目町会もその一つ。鐵砲洲稻荷神社の祭礼や入船・湊地区の四町会連合で行う盆踊り大会、バスハイクやもちつき大会など、季節ごとにさまざまなイベントを行っています。特に防災活動については、毎年七月に行う町会防災訓練を皮切りに、九月の区総合防災訓練(平成二十九年度は月島地域で実施)、十月の防災資機材展示会、十一月(平成二十九年度は十二月三日実施)の四町会合同の中央小学校防災拠点運営委員会防災訓練などに取り組んでいます。

## 防災資機材展示会で 近所の企業の参加促進

中でも防災資機材展示会は、近隣の企業や事業所の皆さんにも町会の備蓄品を広く知ってもらうことを目的に平日昼に実施している町会独自の企画です。普段はコミュニケーションルームと鉄砲洲児童公園の防災倉庫に保管している防災備品を、動作確認も兼ねて展示するとともに、区、消

防署や消防団の協力を得て初期消火訓練やAED講習なども実施。ちょうど近隣幼稚園の帰宅時間と重なることから、お迎えついでに参加する親子も増えていきます。十六回目となった今年度は十二企業・百九十人が参加しました。「マンションもできて小さいお子さんがいる新規住民も増えていきますので、参加しやすいときに顔を出してもらえれば、ちょっとした意識付けにもつながるので」と高安会長。平成二十五年四月にはこうした意欲的な活動が認められ、東京防災隣組に認定されました。

## お年寄りの見守り体制も構築中

もともと町会では二十年前に防災部を組織化し、消防署の講習会や地域の防災訓練などで知見を深めながら体制を強化してきました。さらに中央区の高齢者福祉課が平成二十四年度(平成二十五年)に災害時の要援護者支援体制を検討する際に、モデル町会として検証等に協力したことで、支援体制の構築に寄与しました。また、町会の福祉部は、この過程で四地区それぞれに「災害時要援護者見守り支援要員」の担当割りも

決めました。今は具体的な実施要領を作り込んでいる最中で、「完成したら見守り支援訓練もしたい」(防災部長の富田さん)と考えています。

昔から隣近所のつながりが強い町会ですが、マンションが建ち新規住民が増える中、みんなが顔なじみとはいえない状況になりつつあります。そこで「少しでも参加しやすいように」と、昨年から婦人部サポーター制度を立ち上げ、盆踊り大会や年末夜警(子ども火の用心)など子ども達も参加するイベントのお手伝いメンバーの募集も始めました。日常的な活動やイベントを通じた声掛けも意識して行っています。

高安会長は「これから新旧住民が融合できるような接点づくりと、人のつながりによる安全・安心な町会を目指していきたい」と話してくれました。



町会独自企画の「防災資機材展示会」

## 町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみ利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極にご活用ください。

中央区のホームページからも  
リンクがありますので、ご利用ください

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合せ先

区民部地域振興課  
自治振興係

03-3546-5337



日本橋  
地域近隣町会と連携し  
“共助”の力を最大限に活用

堀留町二丁目町会会長 青山博務さん

あおやまひろむ

一度の経験でも身を助ける！  
「気軽に参加を」

江戸落語にも登場する「三光稲荷神社」を中心に、織物問屋などが集まる堀留町界隈は、江戸風情と今どきのオフィス街が混在するまち。堀留町二丁目町会では、地域の氏神様になっっている三光稲荷神社の祭事と合わせ、日々の生活の中で歴史や風情が感じられるような四季折々のイベントを行っています。特に近年はマンションが多く建てられたことで人口も増加し、町会員も八〇九割がマンション住民。青山会長は「町会への加入は棟単位や個人参加など様々ですが、少しでも興味を持って参加しやすいようにと、三光稲荷神社と一緒に歳時行事を行ったりしています。」と話します。周辺町会と合同で開催するイベントが多い中、町会が落語家などを呼び、秋に開催する「堀二寄席」などは独自企画として人気が高いそうです。

住民・企業が一緒に  
「町ぐるみ総合防災訓練」

どの町会でも一番気にかけていることは「安全・安心な暮らし」。自然災害や火災などが発生したときには、日ごろの備えに加え、住民や

企業に勤める社員、マンション居住者など地域の結びつきが欠かせません。そこで堀留町二丁目町会では、近隣三町会（堀留町一丁目町会・小舟町町会・人形町三丁目町会）や東京織物卸商防災協力会と合同で「堀留公園町ぐるみ総合防災訓練実行委員会」を結成し、毎年十一月に「町ぐるみ総合防災訓練」を実施しています。

四十七回目を迎えた平成二十九年十一月十五日に開催し、近隣事業所や住民を含め約四百人、同町会からも約八十人が参加しました。グループごとに消火器やAED（自動体外式除細動器）の実機訓練や放水訓練、起震車による地震体験などを行うとともに、消防装備着装体験や非常食の配布訓練なども実施しました。「普段はなかなか接点がない事業所の皆さんと一緒に訓練することで、お互いを知るきっかけにもなっています。」と青山会長。平成二十八年四月には東京都が主催する「東京防災隣組」に実行委員会が認定され、地域住民と事業所が協力し合う「共助」の仕組みとして地域を支えています。



消防署による応急救護実演



初期消火訓練実施

さらに住民訓練としては、本町や小伝馬町、大伝馬町、小舟町、堀留町の五町・十一町会合同で、災害発生時の避難所となっている十思スクエアでの「防災拠点訓練」も実施。防災拠点開設や毛布担架搬送体験など、避難所が必要となる作業体験を行っています。また今年からは、総務部の女性を中心となって町会の備蓄もスタートしました。青山会長は「一度でも体験しておくことがいざという時に役立ちます。平日や休日の開催となっていますので、参加しやすい日にマンション住まいの人にも参加してほしい」と話します。そのためには、神社での催し物やイベントを通じて「顔なじみづくりを地道に続けていく予定です。」

## 中央区防災マップアプリを紹介します！

避難所となる防災拠点や帰宅困難者一時滞在施設への経路案内、開設状況をお知らせするアプリです。そのほか災害時の安否確認や情報収集に役立ちますので、ぜひご登録ください。

## 【利用方法】

## ●対応端末

スマートフォン及びタブレット（iOS9.0以降、Android4.4以降のOSを搭載したもの）

## ●ダウンロード方法

右のQRコードからアプリのダウンロードができます。また、App StoreやGoogle Playで「中央区防災マップ」と検索し、ダウンロードすることができます。

↓無料でダウンロードできます！↓



Android用



iOS用



お問合せ先

総務課防災課普及係 03-3546-5510

月島  
地域住民の年齢・健康に対応した  
防災“共助”体制が強み

都営勝どき六丁目アパート自治会会長 成田高さん

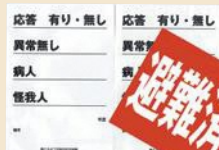


隅田川と運河に囲まれ、高層マンションが立ち並ぶ勝どき地域。その一角にある「都営勝どき六丁目アパート」は昭和五十二年に完成した都営住宅で、約百九十世帯約二百六十人が住んでいます。住民の中には高齢者も多く、様々な方々が入居し、竣工当初からの居住者も全体の三分の一ほど残っています。同自治会の成田会長は「高齢化が進んでいるからこそ、日ごろのコミュニケーションを大切にしながら自治会活動を行っています」と話してくれました。

高齢者が多いことに配慮した  
防災訓練

防災活動については、毎年秋に開催される豊海小学校防災拠点訓練に加え、毎年十月の日曜日には自治会主催の防災訓練を行っています。毎回百人近い住民が参加するメインイベントで、今年度は十月一日に開催し、地震車による地震体験や初期消火、救命AED（自動体外式除細動器）講習、ベランダ衝立蹴破り体験、炊き出し訓練、防災備品展示などを行いました。この防災訓練は、中央区の支援を受け自治会内に整備した約

四十人の「防災区民組織」が中心となり、「入居者・高齢者に必要な訓練は何か、という視点で毎回企画を検討している」（防災部長・防災区民組織副代表の飯野さん）そうです。今回は二年ぶりに通報訓練（救急・消防に電話通報をする訓練）を実施することになり、「いざという時は誰でも気が動転し、自分の住所もなかなか言えません。少しでも慣れておいてほしい」（副代表の早乙女さん）という思いから、参加者全員が体験しました。また同自治会は中央区が取り組んでいる「高齢者等地域見守り活動支援」の登録団体として、アパート内の単身高齢者が安心して暮らせるように定期的な訪問や声掛けなどを行っています。フロアごとに担当者を決めてサポートするほか、年4回集まって情報を共有。災害発生時には、防災区民組織の情報・連絡部メンバーがこの見守り活動によるネットワークワークを活用しながら、各戸安否確認を実施することになっていて、自治会で作成した安否確認シールにも見守り活動で得た工夫が凝らされています。



安否確認シール

## 日常のコミュニケーションを大切に

ただ、入居者の入れ替わりが進んだことで、最近は自治会への参加が減っていることが悩みの一つ。そこで自治会では、新規入居者・自治会役員との顔合わせ会の開催や、玄関やエレベーターで会ったときの声掛けなど、まめに接点を作るようにしています。「最初のきっかけがあればお互い声も掛けやすくなりますし、結果的に顔なじみの関係が共助の力を生み出すと思っています」と成田会長。実際に東日本大震災発生時には、在宅していた自治会役員や防災区民組織のメンバーが、入居者に声を掛けながら対応するなど、日ごろの活動・交流が奏功しました。こういって「顔なじみ」同士の関係を大切にしている自治会活動が、安全・安心な住まい・地域を支えてくれています。



ベランダ衝立蹴破り体験

## コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として**毎月第2・第4金曜日は一人100円（敬老入浴証持参者および小学生以下は無料）**で入浴をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしております。

- 時間 各浴場営業時間
- 場所 中央区内公衆浴場（銭湯）
- 対象者 中央区内在住・在勤者
- 入浴料金 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料  
※石鹸、シャンプー等のご持参下さい。



お問合せ先

区民部地域振興課  
区民施設係  
03-3546-5623

中央区浴場組合  
ホームページに  
アクセスできます▼

